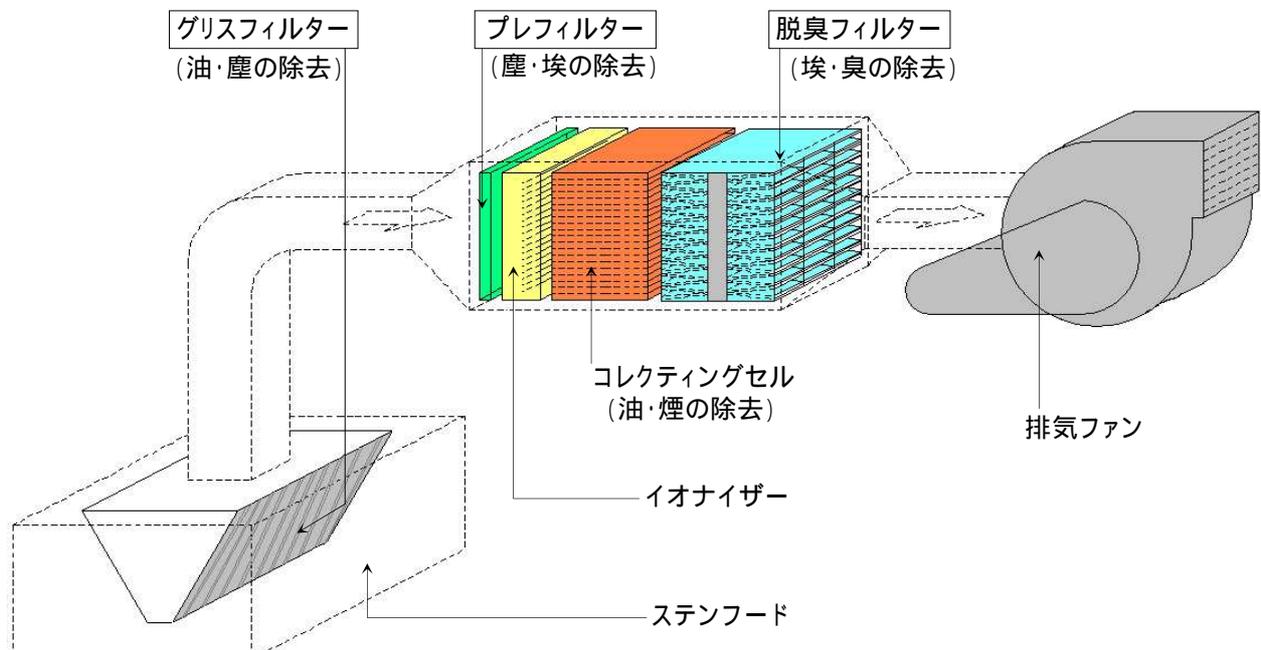
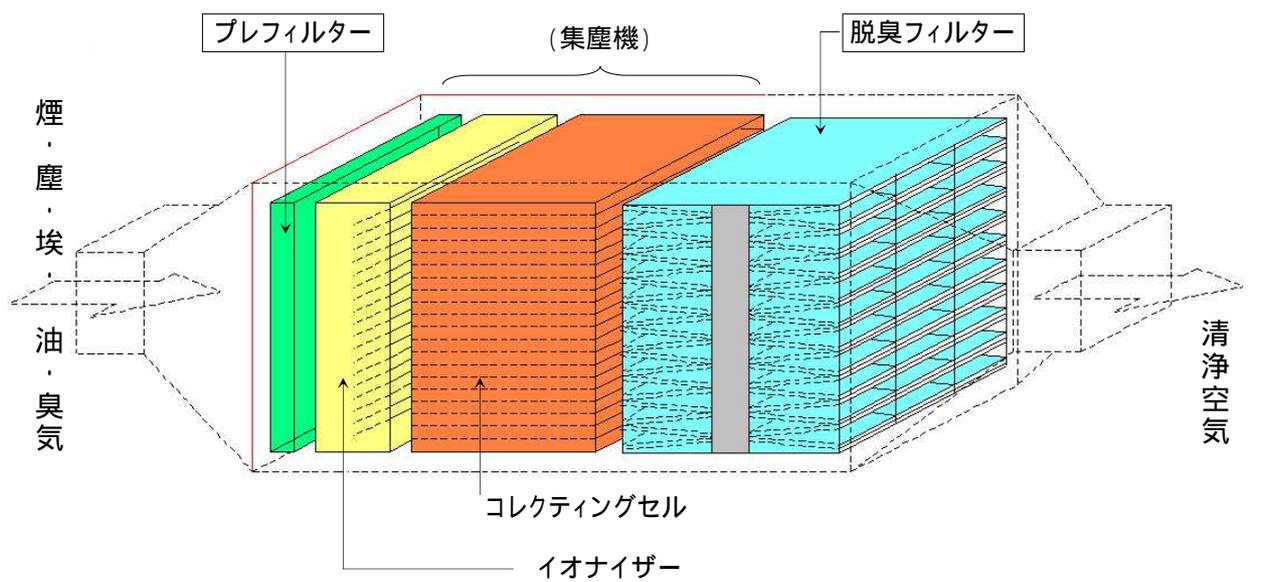
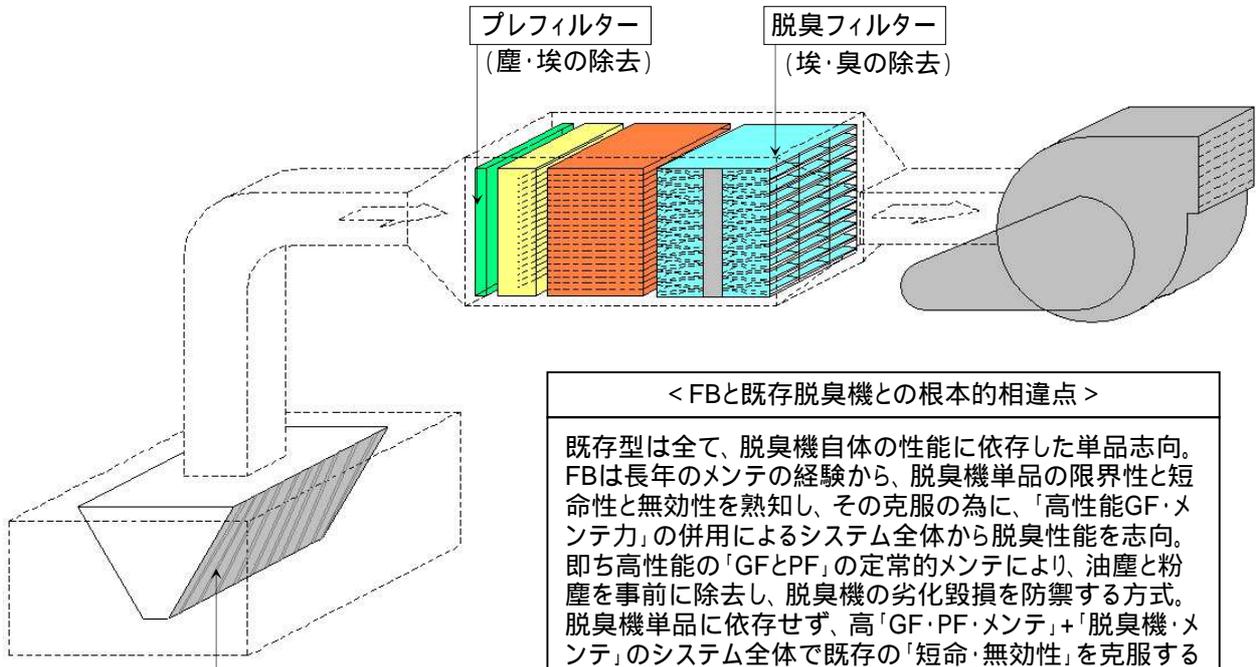


<p>ファインブルー (FB)</p>	<p>「三種のフィルター」によるウエックス製脱臭装置「ファインブルー」の特徴</p>
<p>全体フロー構成図</p>	 <p>グリスフィルター (油・塵の除去)</p> <p>プレフィルター (塵・埃の除去)</p> <p>脱臭フィルター (埃・臭の除去)</p> <p>コレクティングセル (油・煙の除去)</p> <p>イオナイザー</p> <p>ステンフード</p> <p>排気ファン</p>
<p>脱臭機器構成図</p>	 <p>プレフィルター</p> <p>(集塵機)</p> <p>脱臭フィルター</p> <p>煙・塵・埃・油・臭気</p> <p>コレクティングセル</p> <p>イオナイザー</p> <p>清浄空気</p> <p>(集塵機 = 濃煙対策用集塵機)</p>
<p>主な納入先</p>	<p>・焼鳥店 ・焼肉店 ・一般飲食店舗 ・大型施設集合ダクト</p>

A) ウエックス製脱臭機ファインブルー (FB) の既存の脱臭機との相違点

第 のFB特長点

最高のGFで、脱臭機の短命化・無効化の原因(油塵付着)を徹底除去し長寿命化を実現



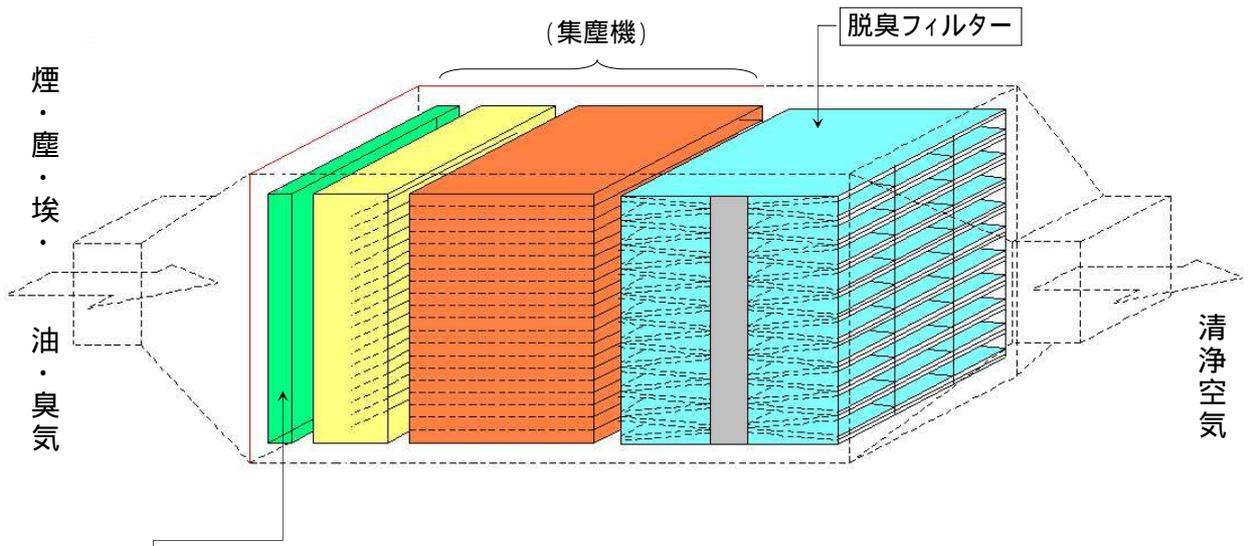
) グリスフィルター (GF)

究極の油塵除去力(GF)で
排気中のオイルミストを除去
脱臭機への油塵付着を阻止
DFの効能化・長寿命を実現

1. 入口でオイルミストを99.72%除去
2. 脱臭機機能を阻害する油塵付着を阻止
3. 毎月のGFメンテにより脱臭機の高機能化を維持
4. 油塵付着の解消によるFBの高性能化・長寿命化の実現

第 のFB特長点

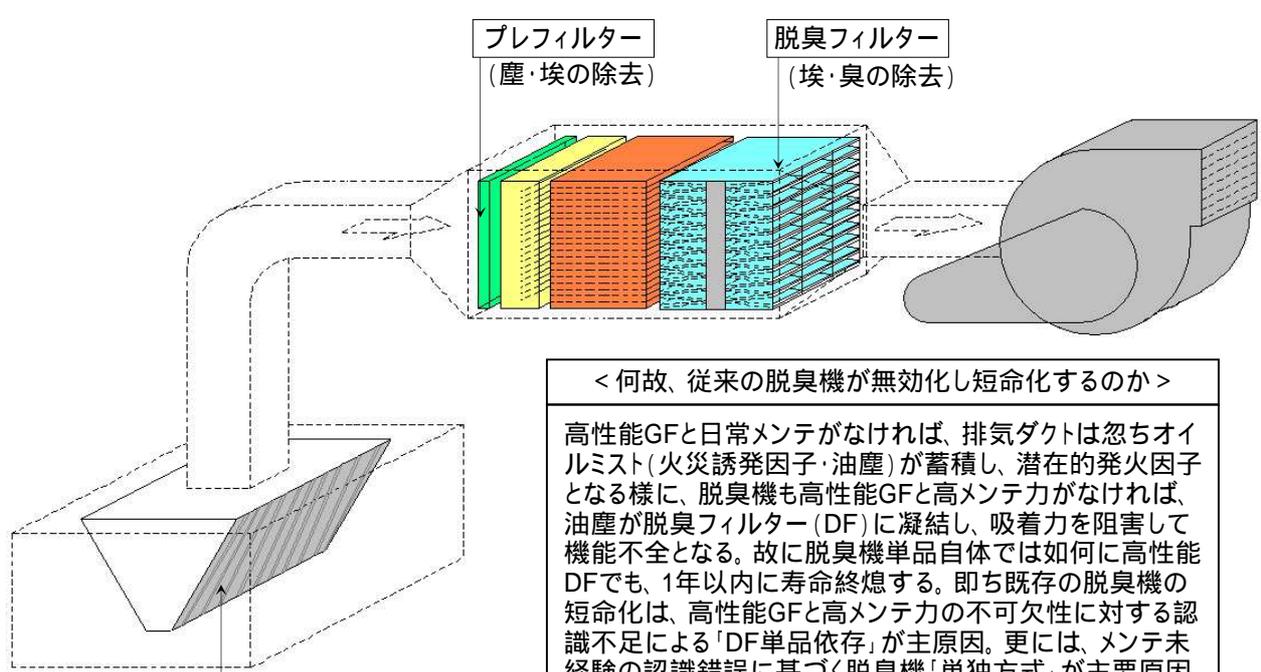
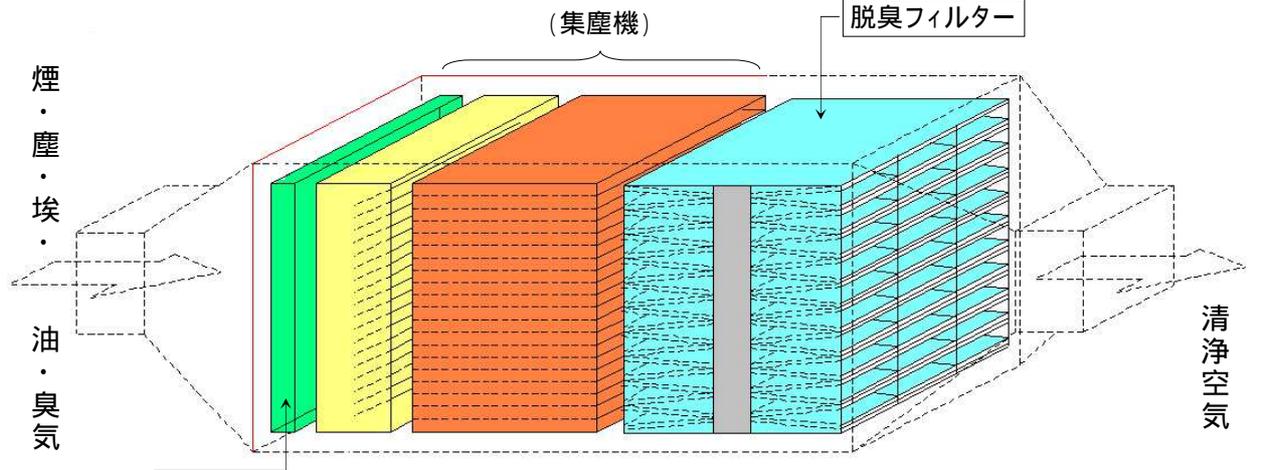
GFと共に毎月のPFのメンテ交換により脱臭機の徹底した防護化・長寿命・効能化を実現



) プレフィルター (PF)

臭気を分散し微細粉塵も捕捉
脱臭機への過剰な負荷を軽減
DFの吸着力と脱臭能力の補助
DFの「長寿命・高性能化」促進

1. 微細な隙間から漏出する粉塵を捕捉
2. 臭気を全体に分散しDFの万遍なき脱臭を補助
3. 粉塵捕捉とDFの吸着脱臭の補助による二重効果
4. GF・PFの定常的メンテにより塵埃除去と脱臭吸着の持続化

<p>既存の脱臭機 (DF)</p>	<p>(B) 従来の脱臭機の致命的弱点とその原因</p>
<p>第 1 の短所・欠陥点</p>	<p>低性能のGFとノーメンテにより、脱臭機は「油塵まみれ」となり、効能衰減し、短命化する</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>プレフィルター (塵・埃の除去)</p> <p>脱臭フィルター (埃・臭の除去)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 300px;"> <p>< 何故、従来の脱臭機が無効化し短命化するのか ></p> <p>高性能GFと日常メンテがなければ、排気ダクトは忽ちオイルミスト (火災誘発因子・油塵) が蓄積し、潜在的発火因子となる様に、脱臭機も高性能GFと高メンテ力がなければ、油塵が脱臭フィルター (DF) に凝結し、吸着力を阻害して機能不全となる。故に脱臭機単品自体では如何に高性能DFでも、1年以内に寿命終熄する。即ち既存の脱臭機の短命化は、高性能GFと高メンテ力の不可欠性に対する認識不足による「DF単品依存」が主原因。更には、メンテ未経験の認識錯誤に基づく脱臭機「単独方式」が主要原因</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>1. 排気ダクト・脱臭機へオイルミストが直撃し塵埃蓄積</p> <p>2. 脱臭機能は忽ち、粉塵・油塵の汚染凝結体に変貌する。</p> <p>3. ノーメンテによりDFは益々、経時劣化し無効化・短命化する。</p> <p>4. 静圧を阻害し不衛生で無効能の汚物体が放置されたままとする。</p> </div>	
<p>第 2 の短命・弱点</p>	<p>GFと共にPFのノーメンテにより塵埃の巣窟となり、黴菌の凝結体と化する</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>煙・塵・埃・油・臭気</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(集塵機)</p> <p>脱臭フィルター</p> </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>清浄空気</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>1. 低性能PFにより粉塵・油塵が脱臭機を直撃</p> <p>2. 脱臭機は粉塵を吸着し油塵の巣窟の汚染体となる</p> <p>3. 過剰な油塵で脱臭機能は限りなく低減し、無効能化する</p> <p>4. ノーメンテと低性能PFにより、脱臭とは対極の塵埃の塊と化する</p> </div>	

脱臭装置の概要

「三種のフィルター」によるウエックス製脱臭装置「ファインブルー」

A) 脱臭装置の根本は？何故、脱臭装置は短命で無効力なのか？

- 1) それは全て、グリスフィルター(GF)から始まる!! GFの性能とメンテ力で全てが決まる。
オイルミストを除去するGFの性能とメンテ力で「排気・圧損」も「脱臭性・経済性」も全て決まる。
脱臭装置の生命は、脱臭機(DF)以前の高GF力とメンテ力にあり、これが決定的役割を果たす。
- 2) GFの重要な役割は塵埃を除去し、排気を促進し、火災誘発因子を根絶する事にある。
就中、脱臭機に於けるGFの最重要機能は、粉塵や油塵でDFが減衰せぬ様に、閉塞を阻止し、汚染を防護する事、更には脱臭力を活性化し、長寿命化する免疫的補助力にある。
故に「高GF力とメンテ力」なき脱臭装置は、免疫力を無視した細胞の如く、全く無意味で無力となります。あたかも超微細フィルターとそのメンテナキクリーンルームが、忽ち破綻していく様に、また如何に高性能の冷凍機・空調機も、エアフィルターとメンテナキければ、やがて頓挫しゆく様に、高GF力とそのメンテナキ「脱臭装置」は当然、破綻していく。従って、従来の脱臭機の短命化と無効化は何故かといえ、高GF力の免疫的役割を無視した致命的錯誤にある。
即ち、免疫力が衰退すれば、細胞が悪性腫瘍に食い破られていく如く、「高GF力なきDF」は無効と破綻を免れ得ない。生きとし生けるもの全ては、「復元力・治癒力・蘇生力」が必要な様に、DFにも免疫力としての高性能GFが必要なのだ。従って「高GF力に基づくDF」こそ、いわば生体に免疫力を吹き込む如く、脱臭機本来の旺盛な生命力と復元力を活性化する為に、決定的に最重要な役割を果たす、言わば「サイレント・ファンダメンタル・マシン」なのです。

B) 「三種のフィルター」より構成される厨房脱臭の基本構造

- 1) 排気入口のグリスフィルター(GF)
高性能GFで厨房排気のオイルミスト(油塵 = 火災誘発因子)を除去する。GFが低性能ならばオイルミストがダクト内に流入蓄積し、ダクト火災の誘発因子となり、然も脱臭装置そのものを汚染し、脱臭性能を劣化させる。従って厨房排気の入口で、99%以上のオイルミストを除去し、かつ定常メンテで、GFの高性能を持続させる事こそが、後続の二種のフィルターの寿命を左右する。
 - 2) 脱臭本体入口のプレフィルター(PF)
PFの持続的メンテと交換(最低1ヶ月1回の洗浄交換)により、PFの初期性能は維持され、その本体の脱臭フィルター(DF)自身の性能と寿命も保護される。何故なら、GFとPFがなければDFは「塵と埃と油」にまみれ、脱臭機能を喪失していく。故にDFにはPFのメンテも必要不可欠である。
 - 3) 脱臭装置の骨格の脱臭フィルター(DF)
前二段のフィルター(GF+PF)の能力と継続的メンテナンスにより、DFの寿命と性能は保護され初期性能を持続させていく。従って従来のDFが「高額で短命で無効果」という致命的欠点は「GFとPF」の軽視とノーメンテから発生している。即ちDFの命運は、その前段の二種のフィルターの性能とメンテナキに係っているという現実認識が、メンテ未経験ゆえに欠落しているからである
- *) 故に以上の「三種のフィルター」による厨房排気の「油塵・塵埃・油臭」の捕捉除去は以下の通り。
脱臭装置で重要な事は、まず第一に厨房排気の「油塵」(オイルミスト)を高性能「GFとメンテ」で確実に除去する事、第二に微細な「塵埃」を「PFとメンテ」で持続的に除去する事。第三に「混合臭気」を「DFとメンテ」で捕捉する事。この相乗集積効果により、「安価で高性能で高寿命」の脱臭装置となる。何故なら、この三種の「高性能フィルターとメンテナキ」如何が、脱臭装置の性能と寿命の生命線を左右するからである。従って、三種のフィルター(GF+PF+DF)の一体的連携がなければ、脱臭機器のみに過大な負荷(塵・埃・煙・油・悪臭)がかかり、免疫的補助力を衰退させ急速な機能劣化をもたらす。故にファインブルー(FB)は、これらを前提に、「高性能GFと高メンテナキ」の成熟した経験智でしか生み出し得ない、最上の脱臭装置システムとなっている。

A)	脱臭機の原因風景
<p>イ) 如何に高性能の脱臭機も、厨房の日々の油塵(オイルミスト)の直撃を受けている為、初期性能は月々日々に劣化し、1年後の能力は約70%前後も低減しているのが、現実の苛烈な実体である。</p> <p>ロ) オイルミストを除去するGFの低能力と、そのメンテの不備の為に、脱臭機(DF)そのものが、不断に「油塵と塵埃」にさらされ、否応なく阻害され続ける脆弱な減臭構造となっているからである。</p> <p>ハ) 即ち低性能のGFとノーメンテという前段の無防備により、ダクトは汚染し、PF(プレフィルター)も閉塞し、更にDF自体も塵埃にまみれて、「吸着・脱臭・除去」も機能不全の絶命状態となる。</p> <p>ニ) 即ち脱臭装置(DF)とは、「高性能GFとメンテ」「高性能PFとメンテ」「高能力DFと持続的メンテ力」という三位一体の構成が必要不可欠である。この高性能の「三種のフィルターとメンテ力」の一体性がなければ、必ず数年後には破綻し、塵埃を被って無用の長物と化す。従って現実に「何億・何千万」円もの高額な脱臭装置(DF)が「油塵と塵埃」の汚物体に変貌し腐蝕しきっている現場の惨状は、この事、即ちDFの命脈は、「高GF力とメンテ力の如何」で決定されるといふ「排気・脱臭」システムに対するメンテ未経験による無認識と不見識による必然の結果である。</p> <p>ホ) 従って、弊社の脱臭システムは、GFのメーカー兼メンテ会社として「GF・PF・排気ファン・排気ダクト」等々の長年の成熟したメンテ技術により、今迄、脱臭装置から切り離され、無視されていた前二段(GF+PF)の弱点を、「高能力・高メンテ」により、レベルアップし、従来の「日常点検とメンテの欠落」という致命傷を、逆に「最強の差別化の優良特徴点」にしたシステムとなっている。</p>	
B)	集塵機・脱臭装置
<p>イ) 「濃煙」には、集塵機(DC・ダストキャッチャー)を脱臭装置(DF)前に設置するのが最適。即ち「二種のフィルター(GF+PF)・集塵機(DC)・脱臭装置(DF)」の四部構成が最適である。</p> <p>ロ) 通常の脱臭は高性能GFとメンテ力が的確であれば、DFは十二分に機能する。然し、強烈な濃煙に対しては、集塵機(DC)が最適である。即ち煤煙の粒子中の粉塵や油煙をイオナイザーで帯電させ、コレクティングセルで除去する集塵機(DC)が最適である。この「GF+PF」に基づく「DC+DF=集塵機+脱臭装置」により「塵・埃・煤・煙・油」を共に除去する事ができる。即ち排気中の「油塵」はGFで除去し、煤煙中の微細な「油煙」はDC(集塵機)で捕捉し、後続する「混合臭気」は脱臭装置(DF)で吸着する四部構成が最も経済的で合理的なシステムである。</p> <p>ハ) 従って、濃煙対策も勘案したファインブルーの脱臭システムの特長を総括して言えば「GF除去率99%:DC効率90%:DF効率90%」という高効率トリオの最上システムとなっている。</p>	
C)	長命性と経済性
<p>厨房より流入する油塵を高性能GFで防禦し、未装着箇所からの塵埃も独自のエアフィルターで除去する。濃厚な排煙に対しては集塵機(DC)で油煙を除去する為、脱臭フィルター(DF)への付着量は極めて微細で、DFの寿命は他社製に比較して圧倒的な長寿命性を維持する。</p> <p>脱臭は特殊活性炭を使用し、維持費(RC)も設備費(IC)も非常に安価。具体的には他社の脱臭装置の設備費に対し、「11年間のRC+ICの総合計額」で、K社の22%・S社の59%・M社の90%という抜群の経済効果と、その倍以上の長寿命化を維持する圧倒的かつ差別的な節減効果がある。</p>	